

[報告] 令和3年度「在住外国人のための防災対応支援事業」

日時

令和3年10月3日, 17日, 31日, 11月7日

場所

虎居地区公民館 (10/3 及び 11/7)

さつま町役場別館大会議室 (10/17 及び 10/31)

講師

- [10/ 3] ・県内在住外国人2名 (大山氏, シュクリ氏)
・当協会職員2名 (多文化共生マネージャー上山氏, イエン氏)
- [10/17] ・異文化教育研修所 有隣館代表 上迫氏, 安田氏
- [10/31] ・川内川河川管理事務所 上野氏, 冬野氏
・さつま町役場総務課危機管理係 小野原氏
・さつま町消防本部警防課 通信指令係・予防係
- [11/ 7] ・鹿児島県防災研修センター職員 馬場氏
・地域防災アドバイザー 吉水氏

参加者数 さつま町及びさつま町周辺地域にお住まいの日本人及び外国人

日にち	日本人住民	外国人住民	計
10/3	24		24
10/17	26		26
10/31		21	21
11/7	27	21	48
計	77	42	119

実施日及び講座内容

日にち	内容
10/3	①多文化共生の視点で考える災害対応 ②在住外国人の視点からみる災害 ③異文化理解 (ムスリムの観点から)
10/17	①「やさしい日本語」を知ろう 講演 ②ワークショップ
10/31	①日本の災害・つるだぐムの紹介 ②さつま町の災害 ③消防への電話のかけ方・消火体験 ④段ボールベッドの紹介・組み立て ⑤ボイストラの紹介
11/7	①工作体験(防災カッパ作り)・非常持出袋ゲーム ②講話・ハザードマップワークショップ ③意見交換会

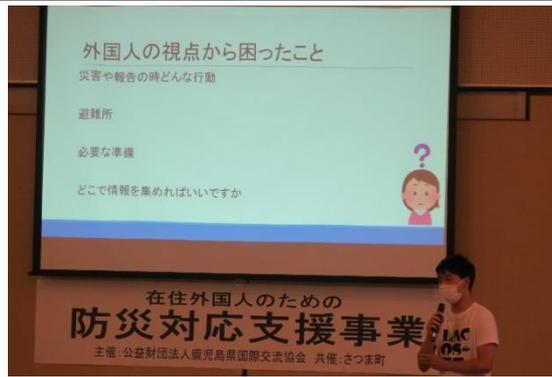
今回、さつま町及び周辺地域にお住まいの在住外国人・日本人を対象とした講座を開催しました。在住外国人向けに、日本の災害や防災対策について学ぶ基礎講座と、在住外国人支援者向けに、災害時の外国人へのサポート手法や多文化共生について理解を深める講座を実施しました。また、第4回目の講座では、在住外国人と日本人支援者が合同で受講する講座を通じて、平時はもとより災害時の支援ができるような、顔の見える関係づくりの場を作りました。

日本人参加者からは、「外国人の方々から体験が聞けて、何が災害時いちばん困るのかなどを理解できました」、「顔を知っているだけで話しかけやすい関係になれると思いました」等の感想や、外国人参加者からは、「役に立つ講座」、「良い機会だった。このイベントを毎年、新しく来る外国人にしてほしい」などの感想をいただきました。

(本事業は一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR) の助成金を受けて実施しました。)

講座の様子

第1回目 (10/3)



①在住外国人より自国の災害、日本で困った事

①在住外国人よりイスラム文化について

第2回目 (10/17)



②やさしい日本語をつくるポイント

②やさしい日本語のワークショップ

第3回目 (10/31)



③防災バックの中身確認

③水消火器体験

第4回目 (11/7)



④日本人と外国人が協力して防災カップを作る様子

④グループワークの様子